

■客員研究員研究

表現アートセラピーを応用したリサーチ手法の可能性
—人身売買被害者の「〈ほんもの〉の語り」—

森田 明彦

(財)アジア女性交流・研究フォーラム 客員研究員



財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム

謝辞

本研究を、このような形でまとめることが出来たのは、財団法人アジア女性交流・研究フォーラムが私を客員研究員に選考して下さったお陰である。

先ず、同フォーラムのご理解、ご支援に対して、心より感謝申し上げたい。

フィリピンでの調査を企画するに当っては、百瀬圭吾（「てのひら～人身売買に立ち向かう会」代表）、アーニー・クロマ（フィリピン教育演劇協会）、藤本伸樹（財団法人アジア・太平洋人権情報センター研究員）、武者小路公秀（大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター所長）、中山暁雄（国際移住機関東京事務所長）の各氏より貴重なアドバイスをいただいた。

また、リサーチワークショップを実施した際には、カルメリータ・ヌキア（女性の自立のためのネットワーク：DAWN 代表）およびアーニー・クロマの各氏の協力を得た。

カンボジアでの調査については、アティ・カプール（AFESIP 国際ディレクター）（当時）、イマニュエル・コリノ（AFESIP 国際ディレクター）、甲斐田万智子（国際子ども権利センター共同代表）、中村三樹夫（カンボジア日本文化センター所長）、リディア・タン（クリエイティブ・アート・セラピスト）の各氏の協力を得た。

さらに、この報告書のドラフトに対して、吉野あかね、椿原恵、佐藤倫子、松本亜樹（以上、「地球共育の会 ふくおか」）、井内かおる（福岡市こども総合相談センター）、高松里（九州大学助教授）、真崎克彦（清泉女子大学助教授）の各氏より貴重なコメントをいただいた。

それぞれのご協力に対して、心より感謝申し上げたい。

最後に、フィリピンのリサーチワークショップに参加して下さった劇団「あけぼの」の子ども達、カンボジアのリサーチワークショップに参加して下さった AFESIP のトム・ディー・センターの皆さんに心より感謝の意を表したい。

〔著者紹介〕

著者：森田明彦

1958 年生れ。東京工業大学特任教授（国際連携プランナー）。東洋大学大学院非常勤講師。博士（学術）。

著書『人権をひらく チャールズ・テイラーとの対話』（藤原書店、2005 年 4 月）。

邦語論文：「ナショナルアイデンティティとしての自由民主主義 現代日本の課題を M・イグナチエフを通じて読み解く」『ソシオ・サイエンス』Vol.12（早稲田大学社会科学研究所、2006 年 3 月）。「日本の近代：未完のプロジェクト - チャールズ・テイラーの『近代社会像』を中心に - 」『ソシオ・サイエンス』Vol.11（早稲田大学社会科学研究所、2005 年 3 月）。「人間の安全保障：現代の人身売買」『アジア女性研究』第 14 号（財団法人アジア女性交流・研究フォーラム、2005 年 3 月）。

英語論文：“Expressive-arts-therapy applied research method”, *Asian Breeze, No.48*（Kitakyushu Forum on Asian Women, 2006.11）。“Collaboration between civil society and government-Challenge in the Greater Mekong Sub (GMS) Region-“, *Journal of Asian Women's Studies No.15*（Kitakyushu Forum on Asian Women, 2006.12）。

共同研究者：リディア・タン（Lydia Tan）

クリエイティブ・アートセラピスト。シンガポール生れ。現在、オーストラリア在住。2005 年に、AFESIP のトム・ディー・センターにおいて人身売買被害者を対象とするアートセラピーワークショップを企画、実施。2006 年にはタイとミャンマーの国境沿いの難民キャンプにおいて難民の子どもを対象とするアートセラピーワークショップを実施。

共同研究者：甲斐田万智子

国際子ども権利センター共同代表。子どもの権利条約総合研究所運営委員。立教大学異文化コミュニケーション研究科非常勤講師。

表現アートセラピーを応用したリサーチ手法の可能性 人身売買被害者のほんもの語り

2007 年 3 月

発行 財団法人アジア女性交流・研究フォーラム
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町 11 番 4 号
北九州市大手町ビル 3F
TEL:093-583-3434 FAX:093-583-5195
E-mail:research@kfaw.or.jp; <http://www.kfaw.or.jp>
